

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 8 月 18 日 (2022.8.18)

【公開番号】特開 2022-103258 (P2022-103258A)

【公開日】令和 4 年 7 月 7 日 (2022.7.7)

【年通号数】公開公報 (特許) 2022-123

【出願番号】特願 2022-76418 (P2022-76418)

【国際特許分類】

C 0 7 C 2 7 1 / 2 0 (2006.01)

C 0 7 C 2 7 1 / 1 6 (2006.01)

C 0 8 G 7 3 / 1 0 (2006.01)

10

【F I】

C 0 7 C 2 7 1 / 2 0 C S P

C 0 7 C 2 7 1 / 1 6

C 0 8 G 7 3 / 1 0

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 8 月 8 日 (2022.8.8)

【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

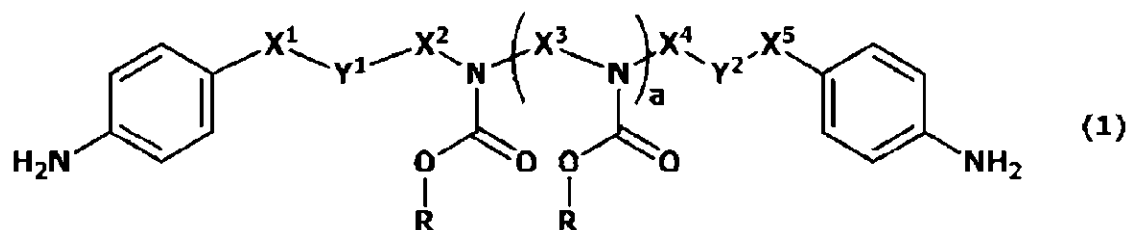
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下記式 (1) で表されるジアミン。

【化 1】



30

(X 1 及び X 5 は単結合であり、X 2 は - C H 2 であり、X 4 は - C H 2 - 又は - C H 2 C H 2 - であり、Y 1 及び Y 2 は単結合であり、R は、炭素数 1 ~ 2 0 の直鎖、分岐若しくは環状の炭化水素基であり、a は 1 である。)

【請求項 2】

X 4 は - C H 2 C H 2 - である請求項 1 に記載のジアミン。

40

【請求項 3】

式 (1) において、R が t - ブチル基又は 9 - フルオレニルメチル基である請求項 1 又は 2 に記載のジアミン。

【請求項 4】

請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載のジアミンを含むジアミン成分とテトラカルボン酸誘導体とを縮重合反応させて得られるポリイミド前駆体。

【請求項 5】

前記ジアミン成分が、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載のジアミンを 2 0 ~ 1 0 0 モル % 含む請求項 5 に記載のポリイミド前駆体。

【請求項 6】

50

請求項 4 又は 5 に記載のポリイミド前駆体をイミド化して得られるポリイミド。

10

20

30

40

50